

1. 有効活用方策（案）の内容と これまでの検討内容について

- 1 - 1 . 河口水門周辺 有効活用方策とは
- 1 - 2 . 河口水門周辺 有効活用方策検討の流れ
- 1 - 3 . ゾーニングと将来像の設定

1 - 1 . 河口水門周辺 有効活用方策とは

有効活用方策の検討に向けた基本的な考え方

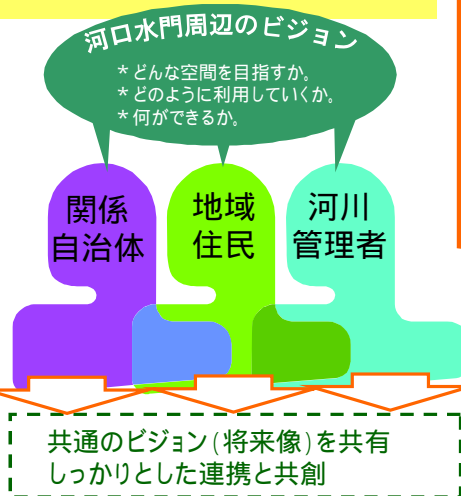
近年の厳しい財政状況やニーズの多様化など公共工事を取り巻く環境が大きく変化するなか、将来にわたって、河口水門周辺の自然環境の保全や向上など、適切かつ持続可能な空間の利活用を図る必要がある。

有効活用とは・・・

施設の整備だけにとどまらず、例えば、適正なルールに基づいて河川空間沿いを花で飾ることや、不法投棄などをしないなど、河川空間の利用のマナーを守ることなども含む総合的な取組み。

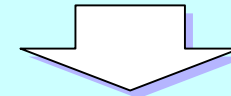
実りある有効活用をすすめるために……

河口水門周辺に係わりのある「利用者や地域の方々」、「河川管理者」、「関係自治体」が、ともに、河口水門周辺の有効活用に向けた共通のビジョン（将来像）を共有し、しっかりとした連携と共創の下、継続性を持って着実に河口水門周辺の有効活用に取組んでいくことが不可欠。



有効活用方策の内容（案）

ゾーニング
(ゾーンの役割：5つのゾーン)



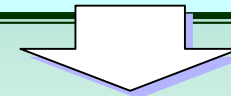
A：ゾーン毎の将来像
(基本理念)

- *どんな空間を目指すか。
- *どのように利用していくか。

その実現化を図る
ためには……

B：アクションプラン
(実現化に向けた取組み)

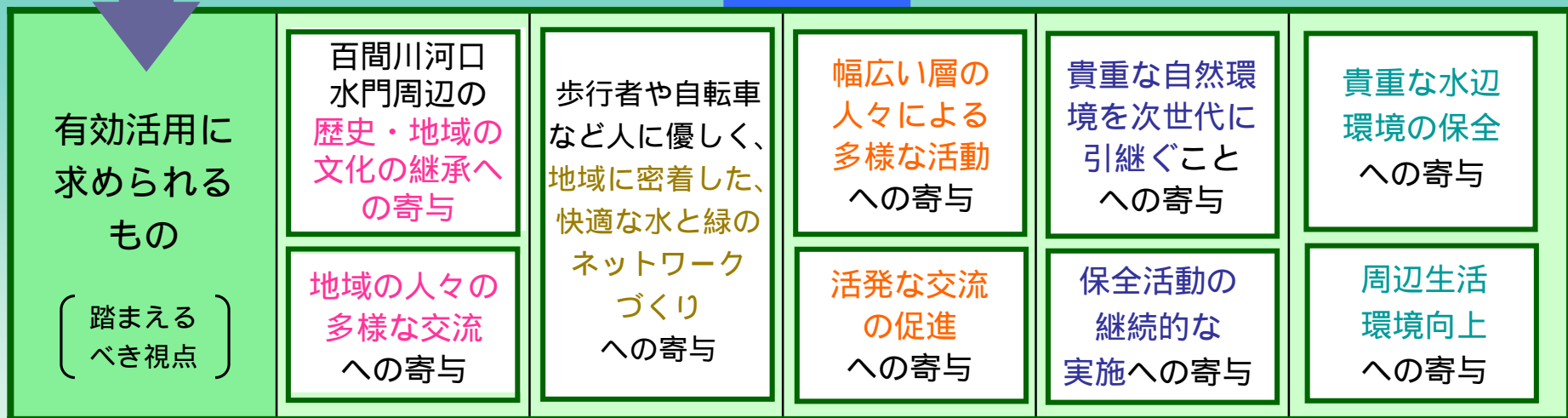
- *どんな取組みが必要か。(短期的・長期的)
- *地元として何が出来るか。
- *行政として何が出来るか。
- *どのように協力・連携していくか。



地域住民と行政の連携と共創による継続的な取組み

1 - 2 . 河口水門周辺 有効活用方策検討の流れ

旭川河川環境 管理基本計画 に基づく 空間配置	自然利用ゾーン（陸域）
	整備ゾーン（陸域）
	自然ゾーン（水域）
百間川河口水門 周辺有効活用 の方針	現況自然環境の保全 歴史的功績（治水・新田開発）の継承 地域風土と地域文化の継承 地域に親しまれる水辺空間の創造 地域社会の意向や将来動向への配慮
地域からの 提案・意見	水防拠点整備について 漕艇会場の跡地利用について 中州の保全について 三角地整備について（百間川河口東側） 歴史の継承について 周辺道路整備について 桜の植栽について 水質浄化について 河口周辺の美化



1 - 3 . ゾーニングと将来像の設定

地域交流ゾーン

【将来像】

1. 地域づくりの中心となる地域住民交流の場の形成
2. 地域活動を支える円滑な交通処理(道路網の形成)の充実



気軽に集えるふれあいの場



歴史を語り伝える場



交通環境の向上



防災活動の場

散策ゾーン

【将来像】

1. 日々の暮らしのなかで水や緑を感じ、楽しむことができる空間の形成
2. 地域が中心となった水や緑の空間づくりを实践する場の形成



水と緑のネットワーク(全ゾーン共通)



緑や草花による水辺の演出

活動空間ゾーン

【将来像】

1. 水辺と親しみ、ふれあいを育む快適な広域活動拠点の形成
2. 関係機関や地域との連携による快適な利用環境の形成



多様な人々が快適に活動できる多目的空間



水辺を活かした快適な多目的空間

生活環境配慮ゾーン

【将来像】

1. 多様な人々が気軽に憩える快適な水辺空間の形成
2. 関係機関や地域との連携による快適な周辺環境の形成



安全・気軽に近づけ憩える水辺



水と緑のネットワーク(全ゾーン共通)

水辺環境保全ゾーン

【将来像】

1. 中州をはじめとした貴重な自然環境の維持・保全
2. 自然の大切さを学べ、地域生活に密着した水辺空間の形成



自然環境の保全・環境学習の推進



地域ぐるみによる清掃活動・維持管理(全ゾーン共通)

